



**訃報** 山本孝三議員（88歳）が令和4年2月6日ご逝去されました。14期54年の長期にわたり、大竹市行政の進展に貢献されました。ご冥福をお祈りいたします。

### 小中 真樹雄

- 現場を見ずに子供の安全を守れるのか
- 「図書館に複数新聞を」の文科省方針について

### 日域 究

- 地籍混乱と平行して、市境界の不明確さの修正も必要です。
- 大竹市立の小中学校の設置者は誰ですか。運営の責任者は誰ですか

### 原田 孝徳

- 「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備」について

### 藤川 和弘

- 大竹市民の方に、選挙に興味をもってもらい、選挙人が、投票しやすい環境にするために

### 細川 雅子

- 令和4年度の大竹市の姿と新年度予算について  
～まちづくり基本計画をみすえ、令和3年度から4年度にどのように繋いでいくか～

### 寺岡 公章

- まちづくり基本計画の浸透具合について
- 基本目標の1つ「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

問 4月1日施行予定の改正児童福祉法施行令では、自治体に義務づけられている保育所への監査をめぐり、「実地で行う」という要件が削除されようとしています。「現地に行かなければ確認できないことがある」と反対の声が上がっています。市はどのように対応するつもりですか。

答 市が行う保育所などの指導監査は、施設の設備や運営に関する基準が守られているかどうかを検査し、必要な改善指導を行うものです。施設を直接見たり、施設管理者や職員と対面したりすることも多いため、引き続き実地での監査を行っていくことを考えています。



**小中 真樹雄**



問 文科省は公立学校の児童生徒が複数の新聞を読める環境を整備する計画を立て、全国の教育委員会に通知。2022年度から、小学校で2紙、中学校で3紙を学校図書館に配備するよう求めています。学校図書館への配備状況と活用実態、今後の取り組みを聞かせてください。

答 教育長現在学校予算で新聞を配備している学校は中学校2校のみですが、全ての中学校で、学年ごとに新聞を活用した授業を行い、情報活用能力や自己表現力、物事を深く考える力が身につくよう取り組んでいます。学校図書館への新聞の配備については、各学校の状況などを踏まえながら順次検討していく予定です。

**「学校図書館に複数新聞を」の文科省方針について**

**答** 質問の内容を基に、法令上権限のある者を答弁者とするので、教育委員会の権限にかかる質問には、教育委員会でその権限を有する者が答弁する 것입니다。市長、教育委員会がそれぞれの職務権限の範囲内で役割を分担し、相互に連携強化を図りながら、教育行政を推進していくことが望ましい姿であると考えます。

**問** 市長は教育関連の答弁をせず、教育長が行います。しかし、市政の最終責任者は市長であり、教育基本法でも政治的中立を求めているだけです。政治を教育から遠ざけた結果若干層の投票率は低く、選挙も無投票。まずは教育分野でも市長が答弁を。

教育問題についても  
市長が答弁を



日域 究

(資料物件)  
第3条 資料物件は、次のとおりとする。

1 土地		所在地	地番地名	面積	地目
大竹市松ヶ原町813 - 1			大竹市松ヶ原町字鶴池813番1	199.00	畠
			大竹市松ヶ原町字鶴池813番3	164.00	田
			廿日市市大野字鶴小屋1837番1	14423.00	学校用地
			廿日市市大野字鶴小屋1837番2	144.00	学校用地
			廿日市市大野字鶴小屋1838番	17.00	学校用地

2 建物等		所在地	所在地番地名	名称	構造	面積
大竹市松ヶ原町813 - 1			廿日市市大野字鶴小屋1837番	校舎	RC	1370.68
			廿日市市大野字鶴小屋1837番	体育馆	RC	610.15

大竹市と美和福祉会の契約書より

**答** 国土地理院の地図を基に作成している管内図が行政区域を正しく表していると考えます。また、旧松ヶ原小学校の敷地は、大竹市と廿日市市にある複数の地番で構成された土地なので、どちらの区域にも存在していると考えます。

大竹市にあるよう見えます。本当はどちらにあるのでしょうか。

どちらの地図が正しいのですか

状況までの評価②地域共生社会の実現にはマンパワーの確保が一つの大きな課題ですが、今後認知症サポートの参加をどう促すか、潜在・現職介護職員等の即戦力となる人材の発掘・活用についてのお考え、そしてこのことに加え、地域福祉や個人情報が障壁となることにより、ネットワークの構築やコーディネートをする上において与える影響③認知症の普及啓発の方法として、駅や商業施設等市民の目に触れる場所へのポスター掲示等の方法があると思いますが、具体的な考え方を伺います。

**問** 「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備」について①第8期介護保険事業計画の一年目を振り返り、特に相談支援と地域づくりに向けた支援の現状における評価②地域共生社会の実現にはマンパワーの確保が一つの大きな課題ですが、今後認知症サポートの参加をどう促すか、潜在・現職介護職員等の即戦力となる人材の発掘・活用についてのお考え、そしてこのことに加え、地域福祉や個人情報が障壁となることにより、ネットワークの構築やコーディネートをする上において与える影響③認知症の普及啓発の方法として、駅や商業施設等市民の目に触れる場所へのポスター掲示等の方法があると思いますが、具体的な考え方を伺います。

地域共生社会の実現に向けて



原田 孝徳



第8期介護保険事業計画

**答** ①ケースに応じて定期的に職員などが状況を確認しています。今後は支援チームを編成し対応します。また、市内に地域サロンがあります。今後はより幅広く市民の皆さんのが集まる場となるようにしていくことが理想です。  
②認知症サポート養成講座は、一般だけでなく事業所や大竹高校でも募集しています。今後も介護認定者などは増えると思われるため、潜在介護職員の活用や生活支援コーディネーターの配置など支援体制の確保は必要と考えてあります。次期計画の策定の中で検討していきます。  
③地域共生社会のポスターは介護事業所などで掲示しています。認知症に特化した啓発は、内容や費用などを考慮し判断します。

※共通投票所とは、居住する地域に基づき指定される投票所とは別に設けられ、自治体の有権者であれば誰でも投票できる投票所

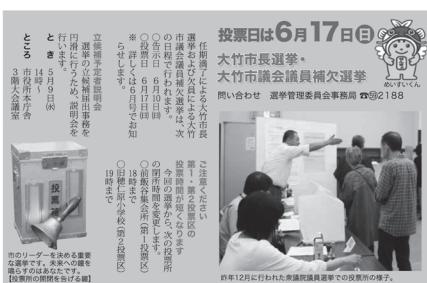
大竹市民の方に、選挙に興味をもつてもらい、投票しやすい環境とするため、人が集まる場所への共通投票所※の設置と、新たな期日前投票所として、こいついバスが停車する大竹駅・総合市民会館・ゆめタウンに設置するお考えはありませんか。また、中山間地の方に行きやすいように、マロンの里に期日前投票所の設置のお考えはありませんか。

大竹会館を一日のみ期日前投票所としていますが、大竹市役所と同様の日程に出来ませんか。投票率を上げるために、新たな周知方法について伺います。

**共通投票所・期日前投票所について**



藤川 和弘



広報あおたけ平成30年5月での選挙記事

(答) 商業施設などへの共通投票所の設置は、一重投票を防ぐためのシステム導入費用が膨大になることや場所の確保など課題が多く、また、期日前投票所の設置についても、同様の課題があるため、現在、設置を考えていません。

大竹会館で市役所と同じ日程で

期日前投票を行う場合、長期間施設を使用することや過去の実績では期日前投票期間の前半は投票者数が少ない傾向にあることから、市役所と同じ期間は適当でないと考えますが、今後の期日前投票者の状況に応じて検討したいと考えています。

投票率向上の取り組みとしては、選挙期日までの約1ヶ月間、インターネットを利用して周知を行うほか、大竹高校の2年生を対象に、出前講座を行っています。

(問) 「大竹市まちづくり基本構想」を策定して2年目、厳しい財政事情のなかでも、財源を確保し、継続事業を確実に推し進め、新規事業にも取り組む予算が提案されました。今年は市長選挙の年ですが、一般的には暫定予算が組まれると聞いていますが、来年度の予算をどのように受け止めたらよいでしょうか?

また、企画財政課の組織変更が発表されました。3係から4係にして、広報広聴係と情報政策係に変更するといつものですが、両係とも、市民と接点の多い部分を担当するようになると想います。新設される係は、今後のまちづくり計画の推進の中で、どのような役割をするのかお尋ねします。

(答) 令和4年度当初予算は、本市の課題に引き続き取り組み、着手できていなかつた懸案事項にも新たに取り組みます。行政は継続が大切であり、進めるべき事業は前に進め、事業を途切れさせることなく確実に前進させていきたいと考えています。



細川 雅子

また、新設の情報政策係では、全国的に取り組みが加速しているDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進として、行政手続きのオンライン化などのデジタル化の取組を進めます。広報広聴係では、さまざまな情報発信媒体の活用などを進め、より効果的な情報発信に取り組みます。これらの取組により、第1期大竹市まちづくり基本計画で定める施策、「時代に対応した情報政策とまちの魅力発信」をしっかりと推進します。

企画財政課 変更イメージ



(詳細はこちらから)

- |           |          |
|-----------|----------|
| <3月31日まで> |          |
| ○企画係      | <4月1日から> |
| ○情報広報係    | ○企画係     |
| ○財政係      | ○広報広聴係   |
|           | ○情報政策係   |
|           | ○財政係     |

**答** 職員は基本計画の策定期段階から参加し、完成後は内容を確認できるようにしてあり、人事評価でも基本計画に沿って組織・個人目標を立てていますが、基本計画の浸透具合は把握していません。会計年度任用職員は、補助的な業務を担つており、一般職員と同等の理解を求めることが一定の限界があると思います。

**問** 予算編成の根拠の一つであるまちづくり基本計画は、令和6年度までの市行政の大切な計画です。

全体像が職員の皆さんにどの程度浸透し、それぞれ習得しておられるかうかがいます。また、会計年度任用職員の皆さんにも、同程度の習熟度を求めたいのですがいかがでしょうか。

**まちづくり基本計画の浸透について**



寺岡 公章

**第1回  
第1期基本計画策定の視点と方向性**

① 計画策定の視点・指標・推進する計画の位置づけ

1 基本目標との関係

2 第2期大竹市まちづくり・しごと創生戦略実施方針

3 大竹市国土強靭化地域計画

4 SDGs(持続可能な開発目標)との関連

QRコード

第1期大竹市まちづくり基本計画

**答** 個人の考え方などから、直接結婚につながる施策は行っていません。しかし、結婚は人と人とのつながりや交流から生まれます。市が出会いいや交流を促すような施設の整備や取り組みを増やすことで、結婚の機会の増加にもつながると考えます。

**問** 「結婚」はどういきましたか。

**総合戦略の基本目標について**

基本目標の一つに、結婚・出産・子育ての希望をかなえるとあります。市の計画や予算案の中に、このうちの「結婚」に当たるものが見当たりません。

## 陳情

<p><b>【陳情名】</b> 晴海臨海公園西側園路整備工事計画の陳情</p> <p><b>【提出者名】</b> 晴海の環境を考える会 発起人 藤岡 好男</p>	<p><b>【要旨】</b></p> <p>現在進められている晴海臨海公園西側園路整備については、近隣への事前説明会で十分な論議が尽くされないまま着手され、引き続きこれから施工予定の工事についても新たな説明会は行わない方針との説明があり、地元民の要望や生活実態も軽視され、住民が危惧する問題点の解決策も明確に示されないままに進められれば、区域周辺の生活環境の悪化が危惧されます。</p> <p>特に、現在、カイズカイブキにより騒音・砂塵・強風・日差し・プライバシー等々から守られている現状があるにもかかわらずカイズカイブキを多大な費用と労力を要して全面的に伐採除去し公園路を施工することには、疑問を感じざるを得ません。</p> <p>つきましては、標記計画の工事について以下のとおり陳情いたします。</p> <p><b>陳情項目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①カイズカイブキの伐採を取りやめて適切な管理を施しながら残すこと。</li> <li>②公園への夜間の立ち入りについては時間帯制限を設けるなどして近隣住民の生活に配慮すること。</li> <li>③公園に植える樹木は管理表面に配慮した樹種にすること。</li> </ul>	<p><b>【付託委員会】</b> 生活環境委員会</p> <p><b>【委員会の結果】</b> 不採択</p> <p><b>【本会議の結果】</b> 不採択</p>
---	--	---

### 本会議での討論

#### 【採択とすべき討論】

「公園の維持管理は、周辺住民の生活環境に配慮すべきで、住民との意思疎通がなされていないので、陳情に賛成」

#### 【不採択とすべき討論】

「現在工事は、全体工事の3分の1進んでいる。住民の要望の樹木の変更も取り入れて進めるべき、陳情に反対」

大竹市長と大竹市議会議長は、ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対する抗議のため、プーチンロシア連邦大統領とガルージン駐日ロシア連邦大使に抗議文を送付しました。

## 抗 議 文

貴国の武力による攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であるとともに、国連憲章や国際法に明確に違反する行為で、世界の安全保障や国際秩序を脅かすものとして断じて容認することはできない。

また、大統領演説では核兵器の使用を示唆するなど、この度の貴国の一連の行為は、最初に被爆の惨禍を経験した広島県民の心情を著しく躊躇するものであり、到底許すことはできず、強く抗議するものである。

本市議会においても、本日、「ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議し平和的解決を求める決議」を全会一致で議決したところである。

については、武力行使の即時停止とウクライナ領土からただちにすべての軍隊を完全撤退させ、平和的解決への道を探ることを強く求める。

令和4（2022）年3月9日

日本国 広島県 大竹市長 入山 欣郎

日本国 広島県 大竹市議会議長 賀屋 幸治

市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているか傍聴してみませんか。

傍聴しませんか  
議会を



### 6月議会日程（予定）

本会議	特別委員会	"	常任委員会	本会議
6月7日（火）	6月1日（水）	5月31日（火）	5月24日（火）	5月23日（月）



第36回のインタビューは「あけぼの音訳グループ」代表 市原 慶子さんです。

# 第36回スマイルインタビュー

**音訳ボランティアを始めたきっかけは何ですか。**

私は若いころに病気をして多くの皆さんのお世話になりました。40年前、世間への恩返しをと思って点字サークルに入りましたが、そのとき中途失明で点字が読めない方のために朗読ボランティアが始まりました。物売りの声が入つたりした失敗談も懐かしいですね。



**意外に難しいと感じた点があれば教えて下さい。**

朗読は、単に本を読むのではなく違いました。扱っているのは大切な情報なので間違ったことは大変なことがあります。1“は”はイチと読み”7“は”はナと読むなどの配慮をしてい



短期間に、かな

**市民のみなさんに伝えたいことは**

ります。また、りの量を一気に読むのさや声の調子を保つのも大変でした。N H K のアナウンス教室で勉強したり、体が資本なので健康にも特に気をつけています。



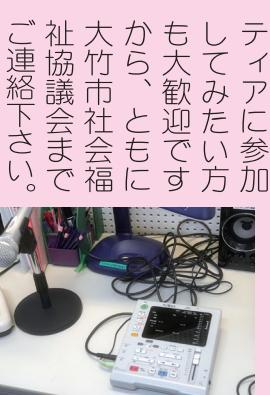
音訳CDを再生するプレイヤー

**やりがいを感じるのはどんなときですか。**

毎回CDが完成し利用者に発送し終えたときはほっとします。過去には投函後にカセットテープの録音不良に気付き、郵便局にお願いして回収することもあります。あります。ミスを防止するため、今は必ず2人で録音しています。年間、欠かさず発行出来ることには満足しています。



利用者の方へCDを届ける専用袋



録音機材

## 広報広聴特別委員

委員長  
副委員長

細日山中藤寺小田上  
川域崎川川岡尚  
雅年智和公  
子究一之弘章典

市議会だよりをいつもご覧いただ  
き大変ありがとうございます。  
広報広聴特別委員会では、いつでも委員全員が参加できるようにオンライン会議も行いました。内容も読みやすいようにとイラストや写真を多めに取り入れ、より良い市議会だより作成のため、日々検討を重ねています。  
コロナもまだ終息が見えず、世界情勢も不安定の中、少しでもみなさんに明るい希望がもてるようしつかり取り組んでまいります。

あとがき

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

